

Linelette

はじめに

この本は、『Tricasket』という、新しい創作の形を紹介するために制作しました。

『Tricasket』とは、イラストと物語とアクセサリー、3つの創作方法を組み合わせた作品です。三連作を意味する「Triptych」と小箱を意味する「Casket」を組み合わせて名付けました。

イラストと物語とアクセサリー、3つの表現を重ねることで、作品それぞれに息づく世界をより近くに感じられるようにしたい、そんな思いで『Tricasket』の制作を行っています。

『Tricasket』の制作は、一人でも、誰かと一緒に楽しめるものです。

このLineletteというプロジェクトでも、月音としらたまの2人で制作を行っています。

この本を読んで、「おもしろそう！」「楽しそう！」と感じていただけたら、ぜひ制作に挑戦していただけると嬉しいです。

あなたの創作活動がより楽しいものになりますように。

Linelette

アクセサリー・物語担当： 月音

イラスト担当 : しらたま

目次

はじめに	1
目次	2
わたしたちについて	3
～作品ページ～	
No.1 花蜜の王国	4
制作順：アクセサリー→イラスト→物語	
No.2 きみの青を写す	8
制作順：同時進行	
No.3 海に還るきみへ	12
制作順：物語→アクセサリー→イラスト	
No.4 八雲封祓禍譚～狐々ちゃん、学園にいく～	16
制作順：イラスト→物語→アクセサリー	
No.5 ラヴェリナ	23
制作順：アクセサリー→物語→イラスト	

わたしたちについて



月音

Linelette のアクセサリーと物語担当。

創作が趣味で、ありとあらゆることに手を出している。でも漫画は描けない。

きつねが好きすぎて、きつねっ子を見かけると爆速で距離を詰めてくるので注意。逆手に取られて、よくきつねっ子のいるゲームを布教されても苦しんでいる。



しらたま

Linelette のイラスト担当。

白くてまるいいきものが好き。あらゆる百均でシマエナガグッズが出ているので、困っている。キラキラした星関連の雑貨を見つけるとすぐ買おうとするが、最近は買わないよう気をつけている。でも買いたい！いろんなゲームをするのが好き。

この本について

月音としらたまの卒業研究の一環として、『Tricasket』を紹介するために制作しました。

しらたまが「自分の描いたキャラクターに概念アクセサリーが欲しい！」、月音が「自身の制作したアクセサリーにイラストや物語があったら面白いんじゃないかな？」と思ったことが研究のきっかけです。

各 Tricasket のページは、制作した順に掲載しています。あえて順番を変えてみることで、制作の流れや発想にどんな変化が生まれるのかを試しました。

イラストから物語を想像する方、物語からイラストを描くのが好きな方——創作の始まり方は人それぞれだと思います。それぞれの創作スタイルに寄り添う形を提案したいと思い、このような構成にしました。

Linelette の Web サイトもございます。見やすい方でご覧ください。



Linelette の Web サイトはこちら→



No.1 花蜜の王国

制作順

アクセサリー→イラスト→物語

アクセサリー

種類（サイズ）

イヤリング（長さ：4.5cm）

材料

丸皿 / カン付きイヤリング

レジン

蝶の封入パーツ

雪型チェコビーズ

つなぎパーツ

メタルフレーム（蜂と花）



イラスト

キャラクター

キャラクター設定

・ミエル王国の王子様。

おっとりとした性格でマイペース。度々お城を抜け出してお花畠を散策したり、民たちと交流したりしている。



妹弟がたくさんおり、お城にいる間はいつも引っ張りだこで大変そうだが、本人はその時間がとても好きで大切。
公務の時は王族らしく言葉使いや所作に抜け目がない。

←キャラクターラフ



↑台紙用キャラクター立ち絵

台紙デザイン



表



裏

サイズ(用紙) : 136×69mm 厚紙

物語

パターンA(詩風)

王冠の花がふわふわゆれる
蜜のしづくをかかえて
王子様はあまい夢を漂った

裏面に印刷



パターンB(セリフ風)

「集めた金色の蜜を
きみへと捧ぐ」

表面に印刷



制作者対談 以下、月音→月 しらたま→し

月 では、今から『花蜜の王国』の対談を始めます。

し まず、この作品を制作しようと思ったのが、そもそも、私が作ったアクセサリーを…。

月 そう、勝手に持ってきてイラスト描いて、私がどうですかって見せたのがきっかけだよね。

し そうそう、だから、私がアクセサリーに関してどうこう覚えているのは、もうほとんどなくて…(笑)。とりあえず蜜蜂っぽいやつで作ったな、くらいしか覚えてない…。

月 当初は2人で台紙にしよう!って言ってたから、そのアクセ使ったの!?って驚きながらも、いいじゃんって(笑)。

し 最初イメージしやすいようにこっちでイラスト描いとくかってなって、どうせならもらつたやつイメージでいいかで描いちやつた(笑)。

月 じゃあ、質問!この作品で、イラスト描くときに工夫したところとかありますか?

し アクセサリーが春っぽい感じだったから、明るい感じにはしたかったのと…蜂のモチーフだったから、袖のほうにひらひらを付け加えてみたりとか…襟元丸くしたりとか…。イラストはそんな感じなんですけど、物語とかはどうです?

月 まず、台紙が欲しかったので、あんまり長い文章は載せられないなって。一応最初はアクセサリーと、イラスト付き台紙に別紙でリーフレット的なもの作ったら面白いんじゃない?ってなってましたけど…。なんでリーフレットバージョンは無くなったんでしたっけ?

し なんででしたっけ?まあ良さそうだったけどね。

月 なんやかんやあったんでしょうね。誰かそっちも挑戦してくれないかな(笑)。詩だけとかセリフだけで世界観を表現するのは初挑戦だったんで、なかなか難しかったですね~。何個もパターンを作ってみたりとか。

し そうね。いっぱいパターン考えてデザイン調整とかあった気がする。

月 これは最後に制作する人の宿命ですよ。多分(笑)。

し じゃあ、そろそろこの作品の推しポイント言って終わりにしますか。何かあります?

月 それはもう台紙デザインですよ。完成したら、3要素全部綺麗にまとまって感動した。

し それはそう!私拍手したもんね。完成して。

月 してたしてた。私はいろんな人に見せびらかした(笑)。

まあ、普段詩とか短歌とか書かない人はハードルが高いかもしれないけど、逆に短歌中心で書かれてる方もいらっしゃるからね。あとは二次創作なら、キャラも世界観もすでにわかってるから、セリフだけでも面白いかもしれないし。

し 確かに。こう見るいろんなやり方あるんだね~。皆さんにもやりやすい方法で制作してみたいしいね。

以上で対談を終わります。ありがとうございました~。

月 ありがとうございました~。



No.2 きみの青を写す

制作順

同時進行

アクセサリー

種類（サイズ）

片耳イヤリング（長辺：4.5cm）

材料

刺繡糸【221、524、526、163】

イヤリング台（三角バネ式スカシ付）



イラスト

キャラクター&台紙デザイン

キャラクター設定

- 主人公が出会った女の子

思いついたら即行動、元気が有り余る社会人2年目の女の子。仕事でミスが多いが持ち前のコミュ力で無双している。

アイドルグループ『Nautis』に属している「ネモ」を推している。ライブに参加した時は近くの人に声をかけ写真を撮ってもらい、隣席の人に即座に話しかけ仲良くなるタイプの行動力のあるオタク。



サイズ（用紙）：145×215mm

材料：厚紙、オーロララミネートシール

ぼくには、忘れられない人がいる。

「すみません！写真、撮ってもらって大丈夫ですか？」

雲ひとつない青空と、青い花の海。ぼくの心と正反対なほど強い日差しに気が滅入りそうだったとき、そんな明るい声が飛び込んできた。

「……いいですけど」

差し出されたカメラを受け取りながら、なんでぼくに？と思ったのを覚えている。

「ありがとうございます！この子と撮りたくて……」

そう言いながら彼女は透明なポーチの中から人形を取り出した。彼女の耳についている、この青い海を切り取ったかのようなアクセサリーと揃いの花で飾られている。

「じゃあ撮りますね……」

声をかけつつ、カメラを彼女に向かた。瞬間、レンズの向こうに笑顔が咲く。

「はい、チーズ」

あまりにも眩しくて、ちょっとだけ焦ってシャッターを押した。

けれど、一瞬の間ののち、写ったのは、残したかった笑顔そのもので。

「え、すごい！とてもお上手ですね！？ありがとうございます！貴方に頼んでよかった！」

その一言で、ぼくの前に道が開けた気がした。

……彼女の写真は、手元はない。

でも、あの笑顔だけは、言葉だけは。やりたいことを見つけた今でも、鮮やかに思い出せるんだ。

印刷サイズ：145×215mm

材料：OHP シート

制作者対談　以下、月音→月　しらたま→し

月 今から『きみの青を写す』の対談を始めます。じゃあ、まずは制作のきっかけから。

し 制作のきっかけは、ネモフィラ畠と一緒に見に行ったことだったよね～。

月 そうそう。私の幼馴染と3人で行ったやつ。そこで幼馴染が推しの自作ぬいに、ネモフィラの編み飾りのついた帽子被せて、かわい～！ってなって。その様子を見て『ネモフィラ』と『推し活』をテーマに作品をつくろうって話になったんだよね。

アクセサリーのネモフィラをかぎ針編みで作ったのも、完全に幼馴染の影響だし……。でも、幼馴染は毛糸で編んでたけど、私はイヤリングにするからって、結局刺繡糸を……。

し 大変そうだった。たぶん私細かすぎて目が痛くなっちゃう…。

イラストの方はネモフィラと服を青にしようとしてたから明るめの髪の女の子になっちゃったんだよね。ヘアアレンジとか絶対明るい性格の子がするものにしちゃった…。

月 そうそう。私は最初、物語を書いた時は、推しのぬいから元気をもらう五月病ぎみの女の子を主人公にしてたんだけど、しらたまの描いたイラストを見て、この子は絶対五月病にはなってねえ！って（笑）。書き直しちゃった。

し 申し訳ない…。ツインテくるくるのかわいい女の子が描きたかったんや…！

月 まあ、そういうこともある。

し それでいざ印刷するってなった時、サイズどうするかとかで結構試行錯誤してやったなあ。

月 何に印刷するかとかも。透明印刷大変だった……。白インクとかいう大きなトラップ。白の部分が透過するし、他の色も薄くなるから、最初に白印刷が必要なんだよね。

最終的に、イラストを厚紙に印刷して切り絵にするという力技を披露するという（笑）。

し 細かい作業全部お願いしてる（笑）。

月 背景にしたネモフィラの写真の加工も、色味とか結構気を使ったよね。

し してた。物語の流れで思い出の中の記憶みたいな感じにしたいって話してこの色味になつたね背景。2人でやると気になるところがいっぱい出てきてたわ。

月 どうしても矛盾とか生まれるしね。仕方ない。

そろそろ好きなところも言っとく？このままだと大変だったことしかわからないよ（笑）。

し 確かに（笑）。好きなところはねえ～…アクセサリーをイラストに着けてるように見える感じにしたところかな。ここまで大きいサイズの用紙にアクセサリー挟むことないもん。

月 そうね。台紙、手のひらよりも大きい。もうこれ、完全に一点ものの作品のたぐいですよ。台紙のサイズをうまいこと小さくすれば白版の印刷をしてくれる印刷会社さんもあったから、次、もっと効率的に作業するならサイズの見直しから必要かもね。

し そうやね。

これ以上は長くなりそうなんでそろそろ対談終わりにしますか。ありがとうございました。

月 結局反省点ばっかになっちゃった（笑）。ありがとうございました～！



No.3 海に還るきみへ

制作順

物語→アクセサリー→イラスト

物語

海辺を歩くのが好きだった。

白い砂浜、どんよりと青い海。

人の少ない時期を狙って海に行き、ザザーンザザーンと静かに寄せては返す波を眺めている。たまに砂浜を歩いて、不思議な漂流物を集めるのが楽しかった。

いつも私の歌を聴いてくれている横顔を、とても恋しく思っています。
きみが砂の上を歩いて近づき遠ざかるたびに、私の心は嵐のように荒れて、泡のように乱れるのです。
この瓶に入れた真珠は、きみへの贈り物です。
人間はコレを自ら育てるくらいお気に入りなのでしょう？きみも気に入ってくれたらいいな。
この真珠は私の花嫁の印です。身につけて待っていてください。
必ず波がどこまでも迎えに行きますから。

ある日、いつものように海辺に行くと、見知らぬ漂流物があった。紙の入った瓶。ボトルメールだ！と足繁く通った海で見つけた未知に、思わず心が躍った。

浮ついた心のまま家に瓶を持ち帰り、栓を開ける。瓶の中からカラカラと音がした。

挿絵

砂の上にいるきみ

いつも私の歌を聴いてくれている横顔を、とても恋しく思っています。
きみが砂の上を歩いて近づき遠ざかるたびに、私の心は嵐のように荒れて、泡のように乱れるのです。

この瓶に入れた真珠は、きみへの贈り物です。

人間はコレを自ら育てるくらいお気に入りなのでしょう？きみも気に入ってくれたらいいな。

この真珠は私の花嫁の印です。身につけて待っていてください。

必ず波がどこまでも迎えに行きますから。

深い青の底から
敬具

斜陽が海面を輝かせている。

波音のする部屋に、手紙が一枚落ちていた。

アクセサリー

種類（サイズ）

イヤーカフ（直径：1.5cm、高さ：2.2cm）

材料

ワイヤー【銀】（太さ 1mm、0.3mm）

パールビーズ【白、水色】（白は大きさ 2 種）

丸小ビーズ【白、水色、薄紫】



イラスト

キャラクター＆台紙デザイン

キャラクター設定

運命のお嫁さんを探して彷徨っている人魚。歌が好きで、水面に顔を出しては歌っている。

また、キラキラしたものを集めるのが趣味で、いくつもの宝箱を持っている。自分ものに対しての執着心が強く、一度手に入れたら二度と手放すことはない。



キャラクターラフ→



印刷サイズ：A5　　材料：コピー用紙

制作者対談　以下、月音→月　しらたま→し

し 今から『海に還るきみへ』の対談を始めます。

この作品は物語から制作していったけど、書きたい内容決まって勢いがすごかった気がする（笑）。

月 そうだけ？ まあ異類婚姻譚っていいものですからね（過激思想）。

し まあそうなんだけど、結構愛が重いタイプのキャラ生み出してしまった。

月 同意されてしまった（笑）。

イラストもアクセサリーも物語も一まとめに出来る媒体を探してた時に、ボトルメールって案もちろんで、すぐにそれいいね！って採用になったんですね。

だってほら、ボトルメールって浪漫があるじゃないですか。浪漫が。

し 圧を感じる（笑）。知らない人（？）からの手紙は読んで楽しめはするけどね。ゲームの中で拾うイメージしかない。

月 私も実際に拾ったことはない。でもだからこそ、人外と結びつけやすいっていうか。この作品は全てファンタジーです。

し ファンタジー要素が多めの作品にはなったね。人魚とかあんまり描いたことなかったからどうしようか悩みましたけど。

月 初めて描いた人魚さんが狂愛的男人魚さんなの、なかなかないよ。私が描かせました。

し それはそう（笑）。他の人に紹介するときちょっと躊躇する、私が。

月 人間とは別の世界観・思想で生きているキャラクターですって言えば伝わらないかなあ。ほら、そもそも人魚って、船を難破させる怖い妖怪ですしおすし。原作に忠実に……あ、男だった。

し ダメじゃんか！…まあ原作の要素も入ってますよってことで納得してもらおう。

月 実はちょっと裏設定もあって、主人公は別にお前の歌なんて聞いてねえよ！っていう（笑）。人魚の歌声は人間には波音とか海鳥の鳴き声に聞こえるみたいな、そんな感じの裏設定。

し そうだったわ。自分の思ってること相手も考えてるだろ精神の人魚さんじゃん（笑）。

そろそろ終わらないとずっと話しそうなので、おすすめポイント言って終わりますか。

月 あ、やべ。

はい！アクセサリーをつけると耳に人魚の尻尾が生えるところです！ワイヤーでフレームから作ってたんですけど、めっちゃ頑張って角度の調整をしました！

ありがとうございました！

し 私も尻尾が生えるとこ好きです！あと、人魚さんが主人公のことをひらがなで「きみ」と言つてるとこもいいです！ありがとうございました！

月 ニッチで草（笑）。

No.4 八雲封祓禍譚 ~狐々ちゃん、学園にいく~

制作順

イラスト→物語→アクセサリー

イラスト

キャラクター

キャラクター設定

・紅葉 狐々（もみじ ここの）

油揚げが全ての妖狐の子。おっとりした性格で、油揚げがないと動かない。

蒼凜（そうりん）のことは油揚げがなくとも聞いている。

影翔（かげと）のことは舐めていて毒舌を吐きながらいうことを聞かない（油揚げがある場合は別）。

話す言葉は全てひらがな。



・烏澄 影翔（うすみ かげと）

普段は飄々としており掴みどころがない。

蒼凜（そうりん）の一族に代々仕える家柄。

一族の長兄で周りから色々と言われることを嫌い、家にほぼ帰っていない。蒼凜（そうりん）のことは小さな頃から見守っている。

3人の中では一番頭が切れる参謀役。



・天智 苍凜（あまち そうりん）

齢 56にして一族の若き当主。若いが故に他の者から舐められがちだが、実力でねじ伏せてきた。

影翔（かげと）たちとともに「八雲（やくも）」という組織を作り活動している。

普段は当主として威厳が出るよう振る舞っているが2人の前では年相応の態度が垣間見える。



口絵風イラスト



紅葉 狐々、烏澄（弟）



烏澄 影翔、紅葉 狐々



天智 苍凜、紅葉 狐々

印刷サイズ：B4 (257×364mm) 2枚を加工

物語

本編（口絵イラスト風に抜粋）

「狐々！狐々、聞いてるのか！」

怒ったような声と共に黒羽が舞った。怒声を向けられた白髪の少女がうるさそうにそっぽを向く。

「やだっていってる。うすみのおうちでいつもそう。むりじいさせるのがしゅみなへんたいばっか」

幼なげな声とは裏腹に、ぽんぽんと悪口が飛び出してくる。一族諸共馬鹿にされた黒髪の青年は、怒りを堪えるように天を仰いだ。



「ここが蒼凜の言っていた学園だね～。下見に来たはいいもののっと…」

丸いグラサンを掛けた黒髪の青年が、広大な敷地を持つ学園を見下ろしている。

丁度下校時間なのだろう。豪奢な校門へ、数々の黒塗りの車が迎えに入っているのが見える。

「こんな頭と育ちの良さそうな人間の学園に、狐々ちゃんを潜入させるって…。蒼凜正気かなぁ」

重いため息を吐いて、グラサンの青年——烏澄影翔は背中の黒羽を広げる。久々に実家へ向かうその足取りは大変重そうであった。



「おかえり、影翔。きっと来てくれていると信じていたよ」

影翔が襖を開くと、脇息にもたれ、座椅子にゆったりと腰をかける主人の姿が見えた。その横には、もっちゃもっちゃと油揚げを咀嚼している白髪の少女——紅葉狐々の姿もある。

「久しぶりです。蒼凜さま。あと狐々ちゃんも」

襖を後ろ手で閉め、影翔がにこりと微笑む。狐々は油揚げをもったままからさまに嫌そうな顔をした。

「あらら、影翔がいやに他人行儀だ。久しぶりに帰ってきたから、心の距離も開いたらいいのかな」

今の蒼凜は顔面をしている。しかし、その奥で不服そうな顔をしているのは、蒼凜が幼少の頃から仕えている影翔には手に取るようにわかっていた。

あらすじ

ここは人間と妖が共に暮らす国——《瑞穂国（みずほのくに）》。

そうは言っても街を歩くのは人間ばかり。妖たちは人目を忍び、日陰で生活していた。

そんな妖たちだけで構成された秘密組織——《八雲》。彼らの務めは、人の世に滲み出す“禍（まが）”を封じ、祓い、この国の均衡を保つこと。

その《八雲》に、ある日ひとつの依頼が舞い込んだ。

「人間の学園に異変アリ。瑞穂国立黎堂学園に潜入し、調査してほしい」

依頼を受けた《八雲》の当主の天智 蒼凜は、無気力な妖狐の少女・紅葉狐々に潜入をさせるつもりのようだ——！？

豪奢な校舎、頭の良さそうな人間たち、そして校内に巣喰う闇。

妖と人が挑む封祓禍譚、ここに開幕。

アクセサリー

種類（サイズ）

ブレスレット（直径：最大7cm）

材料

刺繡糸【346、2500、406】

パールビーズ【黄、橙】（橙は大きさ2種）

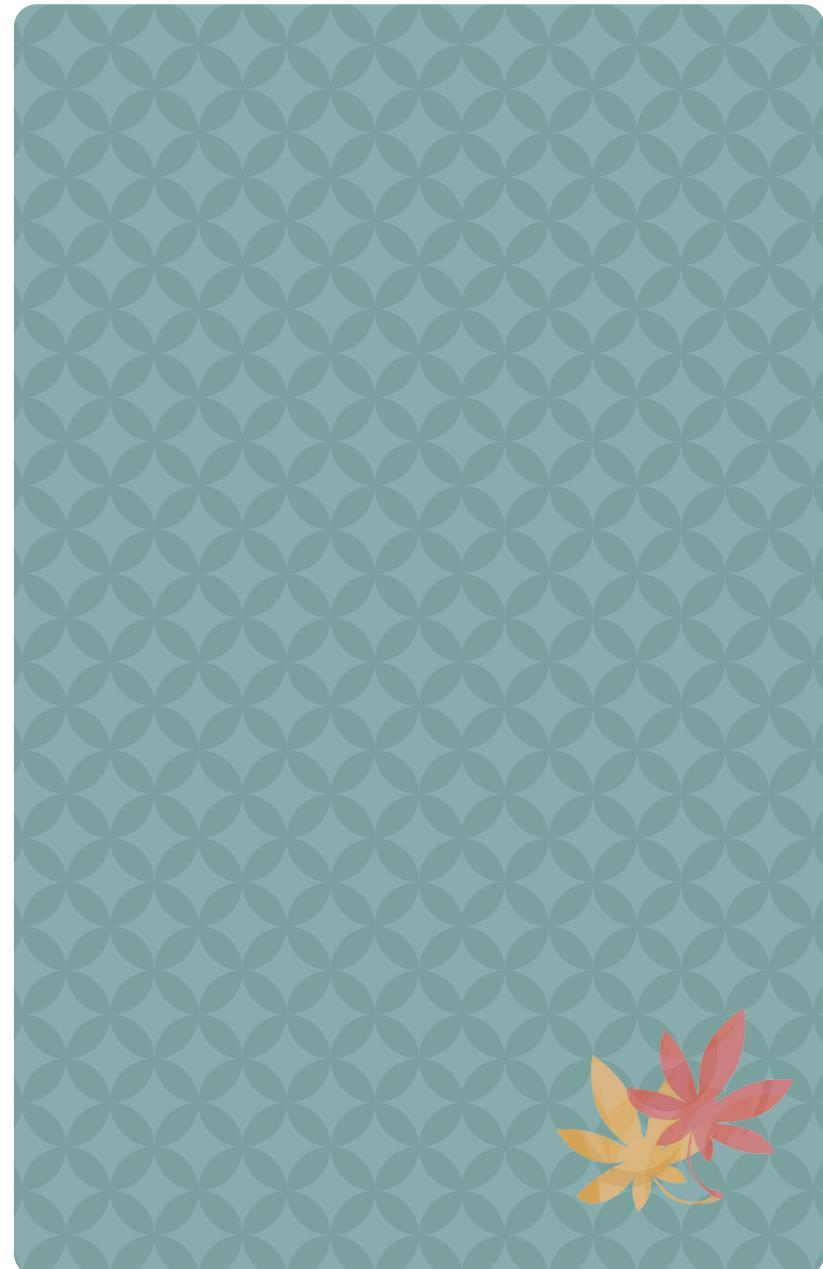
丸カン



制作者対談 以下、月音→月 しらたま→し

- し 今から『八雲封祓禍譚～狐々ちゃん、学園に行く～』の対談を始めます。
- 月 最初はイラスト、物語、イラスト、物語…みたいに、交互に進めていくガーティクフォン
※¹的な方式でやろうって言ってた気がする。
- し 絵巻にするから交互にやるって話になってたけど、私の筆が遅かったから物語書いてもらってからイラスト描く方式になったね。
- 月 挿絵みたいなね。絵自体は、ラノベの口絵をイメージして描いてもらったんだけど。
……うんまあ、先にキャラデザとか軽い設定とかもらって書いたから。セーフセーフ（笑）。
- し そうやね。3人各々が中心になる物語書いてもらつたから、イラストが描きやすかった。
- 月 私は主人公誰やねーん！とか、「八雲」はなんの組織やねん！とか、内心色々突っ込みながら書きましたよ。全員の関係がわかるようにだけは心がけて、好き勝手書いたんだけど、知らないキャラが生えてきましたね。烏澄弟。
- し ああ！設定には烏澄が長男っていれてたけどまさか出てくると思ってなくて、服装とかどうしようってなってたね。とともに設定の説明してなかったからやり返された（笑）。
そうよね、主人公誰やねんってなるな。私の中では天智さん主人公で進んでました。
- 月 まじか（笑）。狐好きに狐っ子を渡してきたから、接待ブレイカと……。狐々ちゃん中心に進めようとしてたわ。一人称視点では書いてないから、誰主人公かは分かりづらいけどね。
- し 妖なら狐の子欲しいかなって。まあ今後他2人中心のが出るぞってことで。
- 月 そうね。サブタイが「蒼凜、先生になる」「影翔、女装する」な巻とかあるかもしれない。
ところで、我らまだ語っていないことがありますね。巻物の作り方。
- し やばいことをさせられそうな影翔さん（笑）。
- 巻物は、作り方を紹介してくださっているサイトがあったのでそのデータを参考に作らせてもらいました～。
- 月 材料も割り箸とか手に入りやすいものばっかだったし、なんとか作れるもんだねえ。
あ、巻物の話なら、一緒にアクセサリーの話もしよう。留め具にも使えるかもしれないからって、割と最初の方からプレスレットにしようって決めてたんだよね。
- し 紅葉の形とか苦戦してたけど、かわいいプレスレットになってた！
- 月 お、可愛いと言ってもらえるなら苦戦した甲斐がありますよ。あれ、刺繡糸をマクラメ編みするとかいう分からんことしたんですよ。ほんと何してたんだろ……。
- し かわいければ良いのだ！私が好きな所は、制服を着て自慢げにしている狐々ちゃん！
- 月 じゃあ私の好きなところは、油揚げもちゃもちゃジト目狐々ちゃんということで……。
- し 狐々ちゃん可愛いやったー！……ここら辺で終わりにしますか。ありがとうございました！
- し ありがとうございました～。

※ 1 Gartic Phone : お題を絵で表現し、その絵をまた文章で推測する「絵」と「文字」を交互に伝えていくオンラインの無料お絵描き伝言ゲーム





No.5 ラヴェリナ

制作順

アクセサリー→物語→イラスト

アクセサリー

種類（サイズ）

ネックレス

（紐：40cm、飾り部分：6cm）

材料

ラブラドル長石

ワックスコード【赤】

ネックレス用金具付き革紐【茶】



物語

日記風

花陽の月 1の日 双暗の日

ラヴェリナ、聞いてくれるかい？ぼく、旅に出ることにしたよ。きみが見たいと言っていた海を見に行こうと思うんだ。

今日、村に来ていた旅商人たちに、一緒に旅をする許可を貰ったんだ。自分で交渉しに行ったんだよ。すごく緊張したけど、受け入れてもらえて良かった。

でもね、父さんには怒られちゃったんだ。お前は職人の息子なんだぞ！って。そんなこと言ったって、家の仕事を継ぐのは兄さんだって居るのにね。あ、ごめん。グチ書いちゃった。これからは気をつけないと。リナに暗い事は伝えたくないんだ。

明日、出立する前にきみのお墓に行くよ。



花陽の月 4の日

もう3日、ずっと湖のそばを歩いてる。リナと眺めていた湖って、こんなに広かったんだね。

昨日と一昨日の日記は書けなかった。ごめんね。

今日は、昨日と一昨日の反省を活かして、昼休憩の合間にこの日記を書いているんだ。だって、夜は真っ暗で、手元も見えないし。しかも疲れてすぐ寝ちゃうしね。

もうすぐとなり村に着くんだ。今日はベッドで寝られるかな。

久々に会える人たちにも、ちゃんと会えるといいな。



花陽の月 5の日 青半の日

おはよう、ラヴェリナ。いい朝だね。

昨日はとなり村の村長さんの家で休ませてもらったんだ。ぼくたちの作った革かばんや服と交換で、パンやハーブをもらったよ。出来立てのパンはとてもおいしかったな。リナにも、食べてほしかった。

パン以外も色々ごちそうになったんだ。昨日は青半の日だったから。ラム肉も、ハーブをたくさん育てている村の料理だとまた違う味がするんだね。

商人さんたちは、この村からはハーブをたくさん取引して隣村に向かうみたい。今日も朝早くから商談をするんだって。ぼくも、もう行かないよ。商人さんにお世話になるんだから。できることはしないとね。



花陽の月 6の日

こんばんは、ラヴェリナ。

昨日はハーブの他に油や火打石、光石をもらつたから、なんと暗い中でも字が書けるんだ！

実はぼく、リナからもらった蝶の羽の石を紐で編んで首から下げてるんだけどね、それを見たベルネに、他の石でも同じようにできないかって言われたんだ。

あ、ベルネはね、この商団の薬師で、頭が良くて、手先もとっても器

用なんだ。今まで、この商団の裁縫や料理も担当してて、手伝いが増えて嬉しいって、ぼくにたくさん話しかけてくれるんだよ。

それでね、とりあえず休憩時間に光石を編んでみたら、とっても褒めてくれて。嬉しかったな……。

良い大きさの拡大石とかあったら、編んで商人さんに渡すといよいよ。最近小さい字が読めないの気にしてるからって、アドバイスももらっちゃった。拡大石、いつか手に入ったら良いな。



花陽の月 8の日 白半の日

今日は1日雨だった。

本当はもう少し進んで、湖の反対側の村に泊まるつもりだったんだけど、野宿になっちゃった。まあ、森の中はぬれるとすべるからしかたないよね。

今はね、湖から少し離れた光る洞窟の中で雨をしのいでいるんだ。今日は月は見えないけれど白半の日だから、鉱物や苔たちがほんのり白く光ってる気がするよ。きみが見たら、きっとこう言うんだろうなぁ。「地面の中にも星空があるのね！」って。

あまりにもキラキラきれいだから、奥まで行ってみたかったんだけど、護衛のグレインさんがダメだって。こういう場所は、魔物や蛇が寝床にしていることがあるから気をつけろって言っていたよ。

いつもより夜の見張を増やさないといけないから、今日からぼくも交代での見張を任されるんだって。この日記を書き終わつたら、なにをしようかな。石を紐で編んでもいいし、革も数枚持ってきたから、夜なべして縫つても良いかも。何度も徹夜して兄さんたちと作ったことを思い出して、少しワクワクしちゃった。



花陽の月 10の日 青明の日

ようやく湖を抜けた。今日は湖と川のほとりにある村に滞在しているよ。ぼくたちの村からちょうど真反対にある、あの村。晴れた日にはリネとよく眺めていた、あそこに今ぼくはいるんだ。

向こう岸からぼくたちの村を見るのって、ちょっと不思議な気分だね。

木々の中に点々と家がある。あのひらけた場所にある、亜麻畑はリナの家の畑。その隣の大きな家がリナの家で、さらにその横の少し小さな家がぼくの家。花陽の月だから、亜麻の花が咲くには早いね。窓から眺めていたら、あの一面が水色に包まれた景色がとてもなつかしくなっちゃった。

明日からは滝の下の港町に向かうんだって。そこから川を使って一気に山をくだるって商人さんたちが言ってた。どんどん村から離れていくのは、少しだけ・・・うんん、なんでもない。リナと海を見るって約束したから、頑張らないと。

▲▽▲▽▲▽▲▽

花陽の月 11 の日 青明の日

山の中は慣れないね。ずっとあの湖の近くで過ごしてきたから、湖が見えないのは、少し不思議な気分だ。もうしばらくは湖に浮かぶ二つの月を見ることはできないんだね。

あ、いや、別に、寂しいわけじゃないよ。あの湖にはリナとの思い出がたくさん詰まっている、それだけだから。

覚えてるよね。きみが湖を見ながら、「いつか海を見にいきたいの！この湖よりも、ずっとずっと、ずーーーっと！広いんだって！」って語ってくれたこと。きみの話を聞いて、僕もすごくわくわくしたんだ。

今はね、滝の側にある番小屋に商人さんたちと泊まっているよ。もう少しきだれば、町が見えるみたい。ここは少し古びているけれど、商人さんたちがよく使っている場所みたいで、ぼくたちの前にも使われてた形跡があったんだ。

あ、そうだ！ねえリナ、聞いてくれるかい！ぼく、ベルネに火加減を褒められたんだ！彼女の料理を手伝った時に「へー、うまいじゃん」って！

商人さんは少し気難しくてとっつきにくいけど……。少しでも役に立てるなら嬉しいな。

▲▽▲▽▲▽▲▽

(中略)

▲▽▲▽▲▽▲▽

融雪の月 50 日 青明の日

海は、誰かの涙の匂いがする。

ねえ、ラヴェリナ。きみは、海のことを湖よりも広い湖と言っていたけど、少し違うかもしれない。ツンとしたにおいがするんだ。遠くからでもわかるくらい。

ぼくも、海を見たときに泣きそうになっちゃった。ちょっとだけね。ああ、本当にちょっとだけだから心配しないで。

ここにたどりつくことが出来てよかった。道中は本当に大変だったからね。

滝をくだったり、貧困街近くの町でスリにあったり。そのスリは盗賊の手下で、旅商人さん達と大捕物をしたね。

あれはもしかしたら、後世まで自慢できるかもしれない。ああでも、そうだね、お金も食料も取られたときは、本当にどうしようかと思ったよ。降雪の月だったし。

でも、もちろん楽しかったこともあるよ。白生青月の日や芳果の月に、違う町のお祭りに参加したこと。特に城下町の収穫祭、楽しかったなあ。ランタンを飛ばして、夜通し歌って。そういうえば、あのランタン、リナのところまでちゃんと届いたかな。

出会った人たちも、おもしろい人たちばかりだった。旅商人さんや、祭司さん。ぼくを助けてくれたおかみさんに、近衛騎士さんも。みんな、元気かな。また会いたいなあ。

あ、盗賊達はもう勘弁。ちゃんと更生して欲しいや。

空に飛竜が見える。ぼくを乗せてくれた飛竜とは違う飛竜だ。海を越えるのかな。

海の向こうにはなにがあるんだろう。博識なリナなら知ってるのかな。まあどちらにしても、きっと大変な旅になるはずだよね。

きみにも見てるといいな、この果てのない青が。

イラスト

キャラクター

キャラクター設定

・主人公（エリアス）

幼馴染（ラヴェリナ）の願い事を叶えるため旅をしている。

自分に自信が持てず幼馴染にいつも励まして過ごしてきた。幼馴染が亡き今、周りに心配をかけないよう明るく振る舞っている。

自分の見た目に無頓着で動きやすければそれでいい。



ポストカードイラスト

旅立ちの湖



ラヴェリナへ

印刷サイズ
148×100mm (ポストカード)

制作者対談 以下、月音→月 しらたま→し

し 今から『ラヴェリナ』の対談を始めます。

月 よろしくお願いします。

……この作品、内容の制作よりも、どうやって形にするかの方が大変だった記憶がある。

物語の印刷どうすんだ、とか。

し 日記だから本にするにしても、文字手書きにするのかとか量どうするみたいな。

月 そうそう。元々長編字書きだから、長いのは書けなくもないんだけどね。手書きは無理だし、印刷するなら印刷所に入稿しなきゃで、期日とサイズ決めてデータ作んなきゃだし。他の作品もあいまって、結局締め切りに終わられたね……。まあ、実は印刷してないんですけど。

し 量が結構あるからね…。

月 メインビジュアルの撮影には、革製のブックカバーを掛けた手帳を買ってきました。画像はイメージです。はい（笑）。

し イラストも風景だけにするのか、人物も込みで描くのかずっとぐるぐるしてました。日記だから風景だけの方がキャラが書いてる雰囲気伝わるけど、イラストが補佐のポジションになるな～と。結局キャラ込みで描いたけど。

月 研究のコンセプトからズレちゃうもんねえ。

し うん。だから個人的に一番描くの難しい作品だったね。

月 難しかったかあ。私はさっきの印刷どうすんの以外、あんま躊躇とこなかったな。アクセサリーも、持ってる石とやったことある技法で作ったし。そう考えると、私主導の作品だったんだね。

し そうね。アクセサリーの石、見る角度によって色変わるから見てて楽しかった。

月 ラブラドル長石です。いいでしょ。ミネラルマルシェで買いました。

し 良かった。

月 マクラメ編みに使った糸は、(No.4とは違って) 今度はちゃんとワックスコードなんですね。ワックスコード、革製品の縫製とかにも使われる紐ということで、主人公くんは革職人の息子っていう設定つけたりしましたね。

し 確かキャラデザの途中だったから、皮のちっちゃいカバンつけました。

月 いいよね。旅人っぽさが上がった。

そろそろ好きなとこ言って終わりにしますか。私はファンタジー設定で話を展開できたとかな。月がふたつある、とか。1年は6ヶ月で1ヶ月は60日だと。こういうのは設定をメリメリしてる時が一番楽しいですからね。

し 設定はいくらでも膨らむものなので。私はやっぱりアクセサリーかな。民族みあって好き。

月 ファンタジー感も出るよね、あの石。……では、ありがとうございました～。

し ありがとうございました。

ご意見・ご感想等ありましたらこちらへどうぞ！（月音の wavebox）



○ Wavebox とは

Wavebox（ウェーブボックス）は、匿名で絵文字のリアクションを届ける
& 受け取るメッセージツールです。
ボタンを押すだけでかんたんに応援の気持ちを届けます。

発行 : Linelette（月音・しらたま）

印刷 : 自家印刷

発行日 : 2026 年 1 月 10 日

この冊子の著作権は月音としらたまにあります。無断複製・頒布・販売はご遠慮ください。

